

## 令和4年6月1日 信者心の道勉強会

### 「正道を歩むと 出会いが生きる」

神 示

社会の姿には 必ず流れがある

その流れは 常に止まることなく

「正道」に向かって動いている

この真実を知らず 自ら合わせる配慮を欠く人は

流れに乗れずに 迷い 苦しむ

迷い 苦しむ人が多い今ゆえ

奇道を生きて 社会の姿をゆがませる

信者に申す

「教え」を学び

「正道」を知って「生きる」人を目指せよ

「教え」に多くの気付きを得ること

人間は 自然と社会の姿が見える

流れも分かる

心の動きは安定し

「運命」が 迷い 苦しむ思いを消す

今 社会は

「正道」に向けて 大きく流れを変えている

六つの花びら枯らさぬように

家族が「教え」を人生の支えに生きるなら

時代の力を受けて

皆の心は 社会の流れに乗って活かされる

出会いは広がり 深まり

運命に重なる人生を歩む人が増えてゆく

「教え」を学び 「正道」をゆくことで

人は皆 生きがい多い人生を歩んでゆける

時は止まることなく、流れています。

万物が変化していきます。誰もが年を重ね、老いていくように、変化するのは必然です。しかし、いかに時代が変わろうと、正道を歩む人は、神から与えられた運命の力に守られ、悔いを残さない出会いが持てると、神は表されています。

人生における出会い、縁は、とても大切です。さまざまな人間関係をより良いものにできるかどうか、自らの運命を生かす開運に大きく関わるのです。

社会の流れは、右に、左に揺れながらも、正しい方向へ戻るように、常に時代の運命の力が働きます。欲が過ぎ、和が乱れて、度を越せば、調和が取れるように、力が作用するのです。

それをも知らず、自分の考えを強く出し、時の流れに合わせる配慮がないと、変化に乗れずに、迷い、苦しむようになります。奇道を生きて、環境をゆがめると、神は指摘されています。

奇道を生きたとは、常識から外れた生き方です。日々の報道を見ると、そうした例が多々あります。道を欠く行為は悪くても、それをまた皆で激しく批判するのも、正しい姿とは言えません。

だからこそ、神の教えを学び、正しい考え方をつかむのです。教えに触れて、多くの気付きを得ると、社会の動きも、その是非が見えてきます。教えを学べば学ぶほど、さまざまなことに気付き、一時の感情に流されたりしなくなります。心の動きが安定し、一瞬のうちにとどのような行動を取ればよいのが判断できます。運命の力が、心の迷いを消してくれます。運命に重なる生き方は、万能とも言えるほど、力があるのです。

社会が正道に向かって流れを変えている昨今です。その時に、家族そろって教えを支えに生きるなら、時代の運命の力と重なり、一人一人の存在が社会の流れに乗って活かされます。

日々巡り合う出会いも広がり、そこに自分の運命が生かれます。教えを学び、道を守って暮らすと、多くの人の役に立ち、生きがい多い人生が歩めるのです。

「正道を歩むと 出会いが生きる」

神 示

悔いなき人生を歩むため

人は皆 「正道」をゆく悟りが必要

なれど 「真理」なき知識に生きる人も多く

自ら実体を下げている

信者に申す

家族で「教え」を学び

「真理」に「生きる」家庭を築く努力が大切

この思いが 家族の心を一つに重ね

家族一人一人の実体を高める

時代の力を引き寄せ

社会を「正道」へと導く人が育ってゆく

多くの出会いが生かされ

ますます「運命」に導かれた「人生」を歩んでゆける

開運かなえる人生の姿が ここにある

今日 社会は 時代の力を受けて

運命に重なる人が多く誕生している

そこに 社会の流れは安定し

互いに声掛け 支え合う人の姿が目立って行く

信者は 「教え」に気付きを得て

流れに乗って「生きる」人であれ

難しいことは何もない

「教え」のある家庭に身を置き

生活すればよろしい

「教え」が 信者の人生を 「正道」へと導く

そこに 一つ一つの出会いも活きる

人としての正道は、神から与えられた運命どおりに生きることです。どれほど知識、学問があっても、地位や財力に恵まれていても、運命に重ならなくては、時代の流れにのまれてしまいます。

悔いのない人生とするためにも、多くの縁の中で自身の運命を生かす道を知らなくてはなりません。しかし、知識、情報があふれる現代は、道理を踏まえ、自ら器から懸け離れた生き方をして、自ら悩みを抱える人が多いのです。

それは、真理に沿わない考え方にこだわり、人の言葉をうのみにし、心を乱して、実体を下げているとも言えるかもしれません。ですから、人生を悔いのないものとするように、正しい生き方を学び取らなくてはいけないのです。

しかも、自分一人ではなく、家族中で教えに触れ、真理に沿う家庭を築く努力が大切です。そこに、家族の心と運命が重なり合って、一人一人の実体、生き方が高まっていくと、神は言われます。

そのような家庭があれば、社会に出て

も、さまざまな縁を生かして、後悔するような行動は取らないでしょう。時代の運命の力と重なり、周りに良い影響を与える、社会を正道へと導く存在になれるのです。

人生において得られる縁は、全てが神の手の中、何一つ無駄はありません。そうした出会いを生かし、自分が人の役に立てば、ますます運命どおりの人生が歩めます。まさに、開運していくのです。

時代が大きく変わる今、社会では、与えられた運命に沿う生き方をする人々が多く誕生していると、神は言われます。分、器を心得て、自らできることをしようとする意識が芽生えているのです。そこに、社会の流れは安定し、互いに声掛け、支え合う姿も増えるはずですよ。

そうした時だからこそ、教えを身に付け、時代の流れに乗って生きる存在になりましょう。教えのある家庭に身を置けば、必ずそうなれます。神の教えこそ、一つ一つの出会いを活かし、人生を正道へと導いていく基なのです。